

厳しい酷暑の夏、然し水質改善へ協働の兆し

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

今年は記録的に暑い夏でした。真夏日・熱帯夜が続き雨は一向に降りませんでした。新聞は連日「異常気象」「記録的酷暑」「渇水」と報じました。下堰親水の観察でも水質が日に日に悪化していくのがわかりました。透視度は落ち、以前は水底の砂がきれいに見えていましたが濁って見づらくなり、気持ちの悪い黒褐色の藻に覆われるようになってきました。それにも増して心配されたのは大量の泡が、それも子供のこぶし程もある大型の泡が毎日のように川面に広がって流れてきたことです。

散歩を楽しむ方々も懸念を口にするようになりました。おおかたの方が水質悪化の主因として、「広袴調整池の汚染」「クレイン東京の排水」「上流域の下水道の未整備」を挙げられました。一方、この様な状況に対処して幾つかの努力もみられました。「広場袴調整池の浚渫開始」「毎日新聞の記事掲載」「いちのせ市議の市議会での質問」「吉原都議の提案による行政との懇談」等を挙げられます。その成果もあってか、10月中旬以降透視度はめっきり改善し、何よりも泡が見られなくなってきました。水質の悪化は様々な要因が複合されており、その改善は決して容易ではありません。然し、これら一連の動きが、水質改善を共通の課題として、それに取り組む、住民、市民団体、行政のゆるやかな協働の兆しと期待するのは楽観に過ぎるでしょうか。

【8月】

8月 9日(木) 里親通信発行・一木会
14時から支所で発行作業。山本、桜井、吉田さん。18時から魚民で一木会。山本、桜井、吉田岩上、五條さん。水質改善策について議論する。一策としてマスコミへの協力要請が提案される。

8月10日(金) 毎日新聞・町田支局へ電話
昨年3月に取り上げてもらった毎日新聞に取材をお願いします。

8月12日(日) 清掃作業
晴天、酷暑。ボランティアセンターの体験講座で町田総合高校生11名、社会人1名。和光小4年生の田口さん親子。それに新規加入の志田さんを加え総勢24名となる。猛暑の中奮闘しゴミ25袋、傘1本を拾得。小魚の群れ。酷暑に耐えかねたかなマズが浮かんでいた。

8月24日(金) 小林記者取材
山本、黒田さんと取材に応ずる。最近の川の水質の悪化、その要因、まつりを中止せざるをえなかったこと、行政の意向等につき説明し下堰親水、広袴公園とその周辺を案内する。

8月29日(水) いわせ市議から連絡
来月の市議会で「真光寺川の環境問題」を取り上げる予定である。については最近の状況を知りたいとのこと。あらまし電話でお話した上で、簡単なメモにまとめてメールで送付する。小林記者に連絡する。

【9月】

9月3日(月) 小林記者より連絡
いわせ議員の議会質問を傍聴したい。環境保全課に当たってみたいところ、質問に対する準備を進めているとのこと。

9月5日(水) 下水道部より連絡
月末から広袴公園の浚渫工事を開始するので水が濁るかもしれないが承知してほしいとのこと。

9月6日(木) 里親通信発行、一木会
支所で里親通信発行作業。山本、黒田、桜井、野田、生江さん。夜、一木会。山本、黒田、桜井、吉田、岩上、生江、久山さん。毎日新聞取材、市会傍聴のこと等。

9月7日(金) いわせ議員、市会で質問

昨年6月の質問に続き、その後の行政の取り組みにつき質問した。環境資源部長、下水道部長より広袴公園の浚渫工事の実施、上流下水道未整備地域の合併浄化槽の管理の徹底等につき回答があった。山本、黒田、桜井、吉田、野田さんと傍聴。小林記者も。午後から小林記者、再度下堰親水で取材。

9月8日(土) 吉原都議から連絡
近く周辺町内会長と南東建、市関係部署との懇談の機会を設けたいとのこと。

9月9日(日) 清掃作業
爽やかな秋日和。17名参加。立石さん、親子も。ゴミ20袋回収。魚の群れが多く見られた。

9月21日(金) 毎日新聞・多摩版に掲載
「水質悪化で今年も中止」と云う見出しでカラー写真入りで掲載された。水質改善の活動の大きな支援となる。小林記者の協力に感謝したい。

9月24日(月) 鶴三小へエコヘスタ資料
宇都宮副校長へエコフェスタの「ちらし」を届ける。当日は父兄も多く参加される由。また6年生の「エコ研究」の成果も展示したいとのこと。

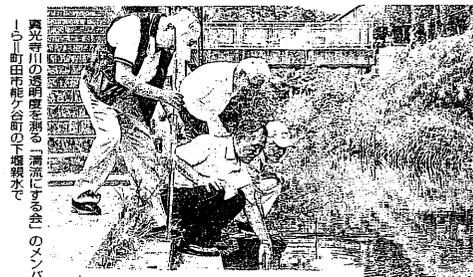
町田・市民団体主催「真光寺

川の水質改善

同会によれば、真光寺川は上流からの水が広袴公園の調整池にいったんたまり、下流に流れ出る。調整池のすぐ下流部分で藻や泡などによる汚れが目立つため、調整池の底にヘドロが溜り、水が汚れる。上流の下水道が未整備で生活用水が流入する。などが原因とみられる。

これに対し、町田市は「水質汚濁防止法に基づきBOD(生物学的酸素要求量)などの数値を年4回計測しているが、例年とほぼ変わらない」と説明。

水質悪化で今年



2012年(平成24年)9月21日(金) 毎日新聞(部分)

【10月】
10月7日(日)「町田エコフェスタ」開催
リサイクルセンターで開催された。折悪しく強い雨の中での開催となった。鶴三小・四年生は例年通り「ゴミ研究の成果」を発表した。校長先生、副校長先生等が支える雨よけのビニール幕の下で、元気よく内容に富む研究成果を発表することができた。聴衆も惜しめない拍手をおくっていた。雨で気の毒だったが、子供たちはこの日のことを決して忘れることはないだろう。

10月11日(木) 里親通信発行・一木会
支所で里親通信発行作業。山本、黒田、桜井さん。18時から、魚民で一木会。山本、黒田、桜井、吉田、岩井さん。町田市の都市計画マスタープランの意見公募に応募することになった。会としては「真光寺川の水質問題」を中心に黒田さんがまとめることになった。

10月14日(日) 清掃作業
曇天。13名参加。平和台から安藤、川野さんが参加する。ゴミ20袋。気温が低いせいか魚は殆どみえなかった。能ヶ谷橋の手前で川底が深くえぐれている箇所があり危険を感じた。

10月25日(木) 行政との懇談
吉原都議の斡旋により、真光寺川の環境改善につき環境資源部、下水道部、南東建と、広袴・能ヶ谷・真光寺町内会長、清流の会との懇談が行われた。山本さんと出席。新庁舎で9時半から2時間余り、忌憚ない意見の交換を行うことができた。

テーマは①広袴公園の浚渫工事②真光寺川の水質改善③広袴公園の憩いの場としての活用。町内会長からも率直な住民の声が表明され、行政サイドも真剣に受け止めている様子であった。都市河川である真光寺川の環境保全是容易なことではない。行政と、住民、市民団体が目標を共有し、協働することにより、僅かずつでも前進することができるのではなからうか。その兆しが見えてきたようで心強く感じた。斡旋の労をとって下さった吉原都議には感謝したい。(この項おわり)